

『これから始める腹部エコー』正誤表

『これから始める腹部エコー』（2015年10月1日第1版第1刷～2021年4月20日第1版第5刷）において誤りがございました。
ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

(2023年2月8日 メジカルビュー社編集部)

| 頁 | 誤 | 正 |
|---|---|--|
| 30頁 図1 | | |
| 69頁 図41 | | |
| 80頁 One Point Advice 「アルコール性肝炎の診断」内 terminology | AST:aspartic aminotransferase | AST:aspartate aminotransferase |
| 95頁 図79 注釈 | IVC:interior vena cave (下大静脈) | IVC:inferior vena cave (下大静脈) |
| 141頁 図3c 図内文字 | SHV | SMV |
| 142頁 図4c 注釈 | Pa: 脾脈 | Pa: 脾臓 |
| 148頁 「脾癌」上から4行目 | 粘液性嚢胞性腫瘍(SCN) | 漿液性嚢胞性腫瘍(SCN) |
| 150頁 「IPMNの超音波所見」 のterminology | MN:mnral nodule | MN:mural nodule |
| 152頁 図16c 注釈 | SMV:脾体尾部 | SMV:上腸間膜静脈 |
| 157頁 「報告書の書き方」 ①閉塞性黄疸(脾頭部癌) 悪い例 解説 | <p>❌</p> <p>①所見の基本的事項は表にすべて記載。 ②胆嚢腫大や肝内胆管・総胆管拡張を認めるにもかかわらず、所見が乏しい。 ③腫瘍の内部性状をしっかりと記載する。均一か不均一か。 大きくなるにつれて中心部に高エコー領域を伴ったり、嚢胞性成分を伴うこともある。 ④主幹管の拡張形態について、平滑なのか・数珠状なのかの記載がない。 また、内壁が整なのか・不整なのかも記載することが望ましい。 ⑤周囲のリンパ節や脈管浸潤についても得られる所見を記載しておく。 ⑥他臓器に所見がない場合でも、記載することが望ましい。</p> | <p>①, ③, ⑤の記述が、p156「報告書の書き方①閉塞性黄疸(脾頭部癌)」 良い例の記述と重複しております。不備がございまして、誠に申し訳 ございません。</p> |

『これから始める腹部エコー』 正誤表

『これから始める腹部エコー』（2015年10月1日第1版第1刷～2019年3月20日第1版第4刷）におきまして誤りがありました。ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2020年6月15日 メジカルビュー社編集部)

| ページ | 誤 | 正 |
|-------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| p.34 シェーマ下 説明 3～4 行目 | LHV : left hepatic vein (右肝静脈) | LHV : left hepatic vein (左肝静脈) |